令和6年度　全国学力・学習状況調査結果の概要と説明（第3学年対象）

1　平均正答率

国語	平均正答率	学習指導要領の内容						観点別			問題形式別		
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
		言語の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと聞くこと	書くこと	読むこと						
第三中	67.0	67.8	70.7	75.2	70.3	73.1	57.1	70.0	65.1		68.8	71.0	57.7
東京都（公立）	61.0	61.6	62.9	75.7	62.9	67.9	50.8	64.4	58.6		63.5	64.6	49.6
全国（公立）	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9	62.0	55.4		61.0	61.8	45.5
東京都比較	+6.0	+6.2	+7.8	−0.5	+7.4	+5.2	+6.3	+5.6	+6.5		+5.3	+6.4	+8.1
全国比較	+8.9	+8.6	+11.1	−0.4	+11.5	+7.8	+9.2	+8.0	+9.7		+7.8	+9.2	+12.2

数学	平均正答率	学習指導要領の領域						観点別			問題形式別		
		数と式	図形	関数	データの活用			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
第三中	66.0	67.3	55.9	69.8	69.3			75.2	46.6		69.1	80.3	46.6
東京都（公立）	57.0	56.2	46.5	63.5	59.1			67.3	34.2		62.4	71.3	34.2
全国（公立）	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5			63.1	29.3		58.5	67.0	29.3
東京都比較	+9.0	+11.1	+9.4	+6.3	+10.2			+7.9	+12.4		+6.7	+9.0	+12.4
全国比較	+13.5	+16.2	+15.6	+9.1	+13.8			+12.1	+17.3		+10.6	+13.3	+17.3

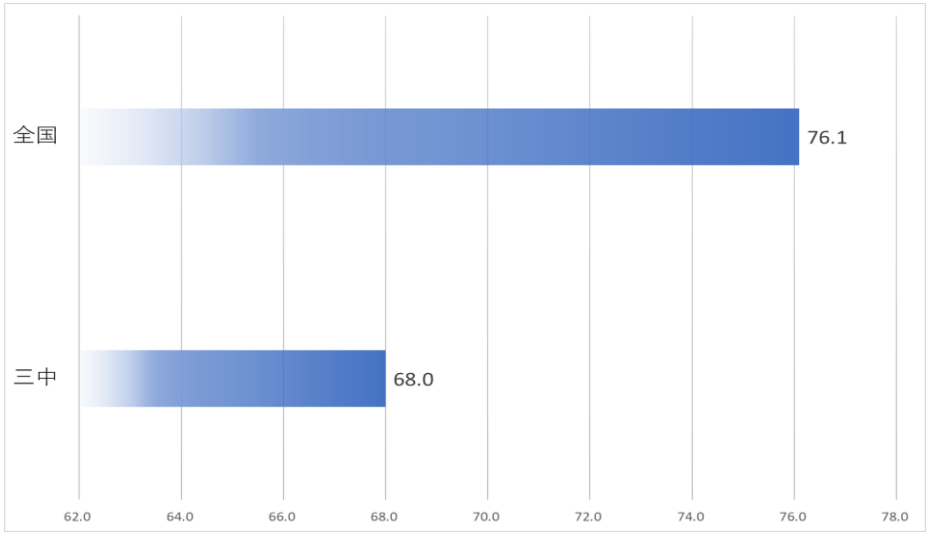
２　無回答率

国語	平均無回答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第三中	1.7	0.3	2.1	5.3
東京都（公立）	3.6	0.8	5.5	9.5
全国（公立）	3.9	0.8	5.7	11.1
東京都比較	−1.9	−0.5	−3.4	−4.2
全国比較	−2.2	−0.5	−3.6	−5.8

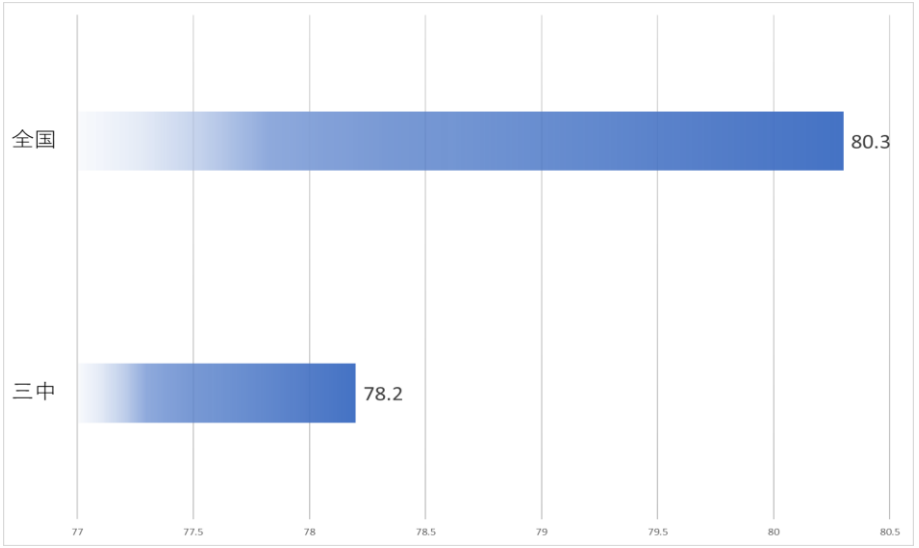
数学	平均無回答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第三中	5.4	0.0	2.9	13.4
東京都（公立）	9.9	1.1	6.0	22.9
全国（公立）	11.3	0.9	6.7	26.5
東京都比較	−4.5	−1.1	−3.1	−9.5
全国比較	−5.9	−0.9	−3.8	−13.1

３　生徒質問紙調査の集計結果より

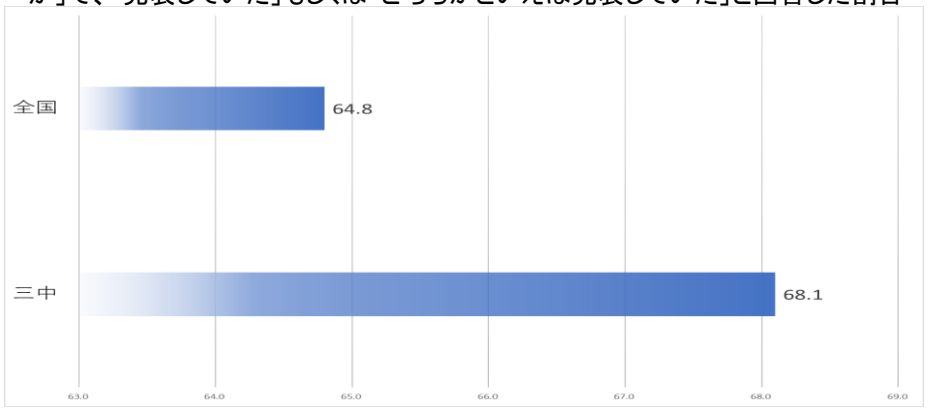
（1）「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



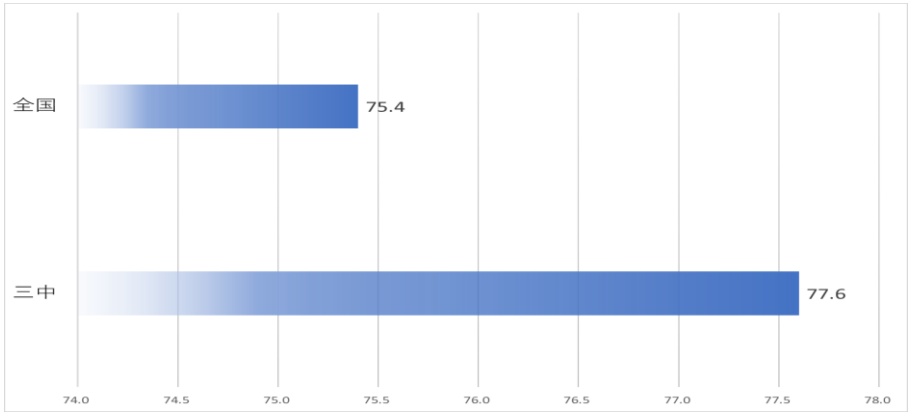
（2）「1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」で「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



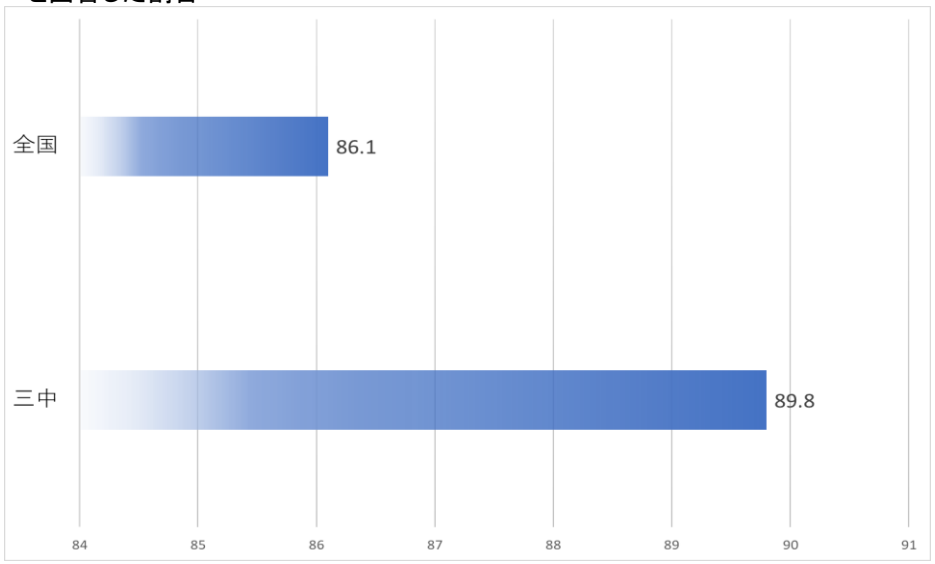
（3）「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」で、「発表していた」もしくは「どちらかといえば発表していた」と回答した割合



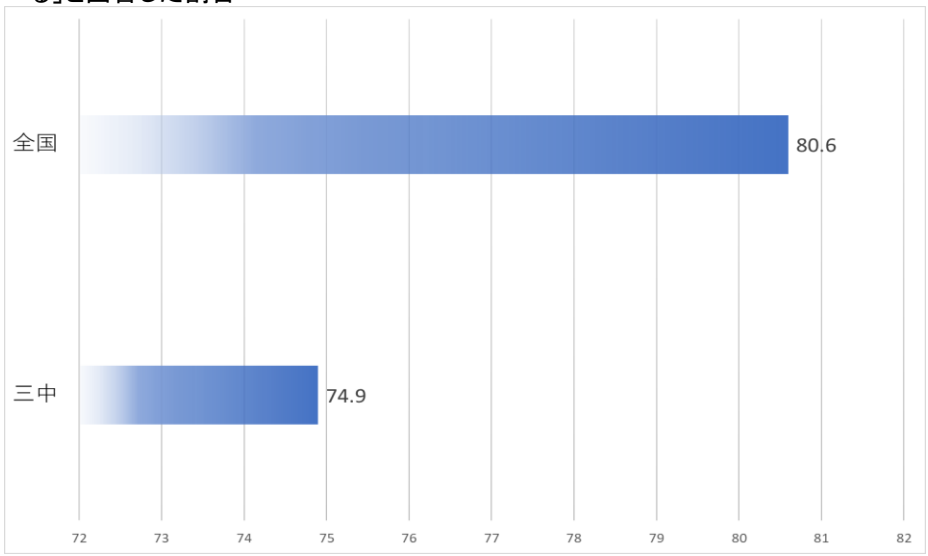
（4）「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



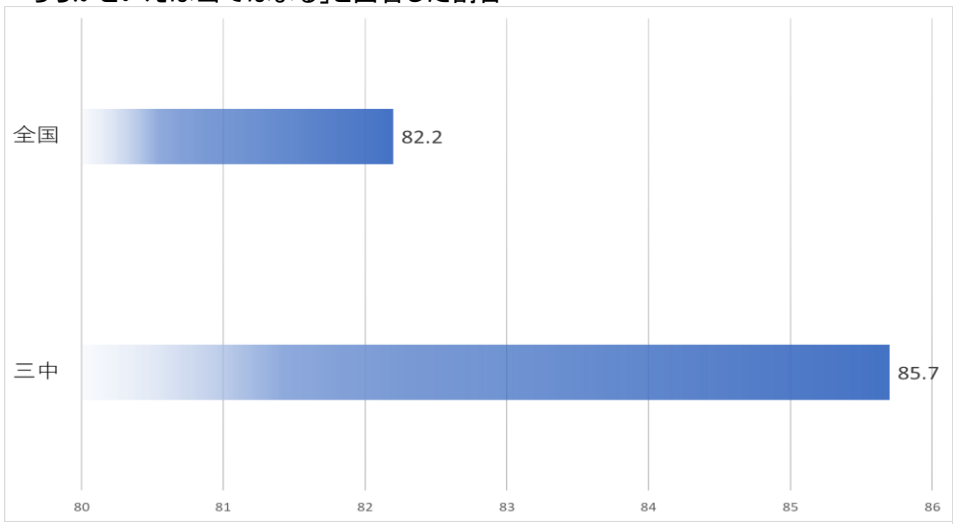
（5）「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



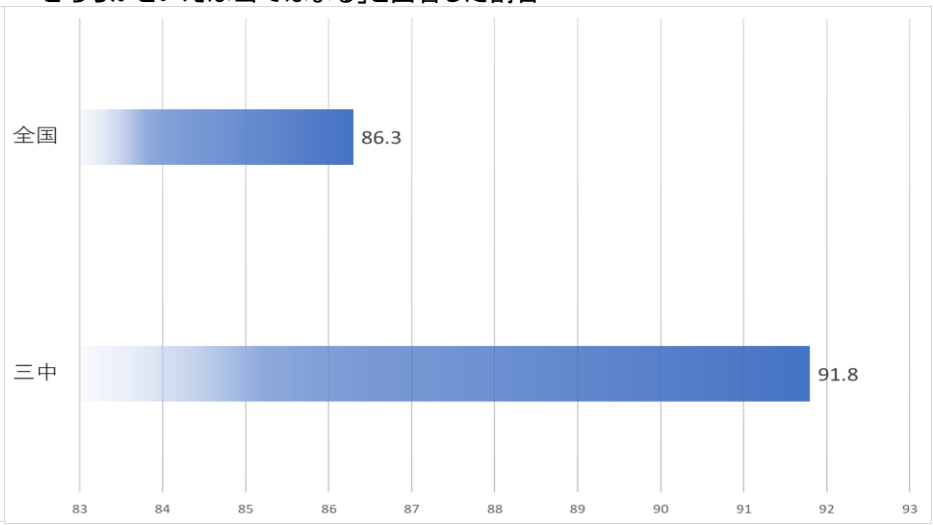
（6）「学級活動における学級の話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



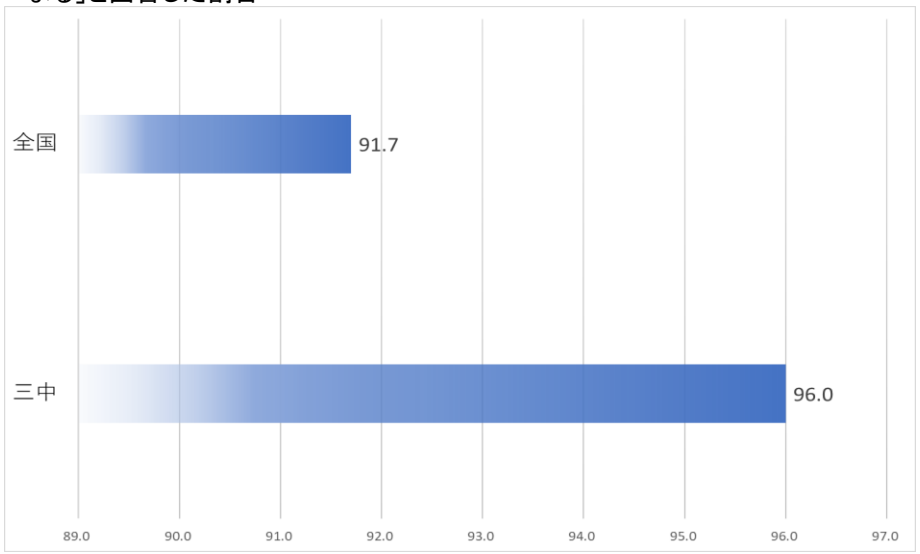
（7）「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



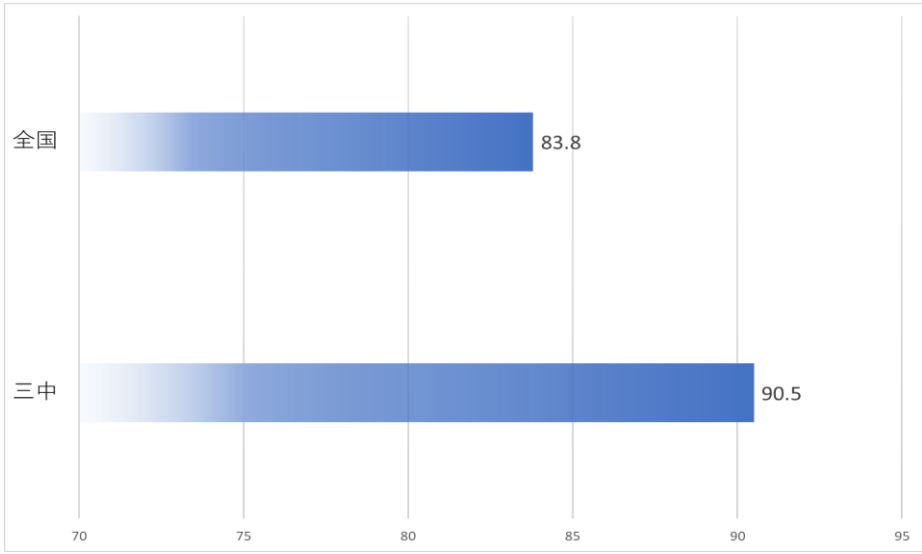
（8）「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



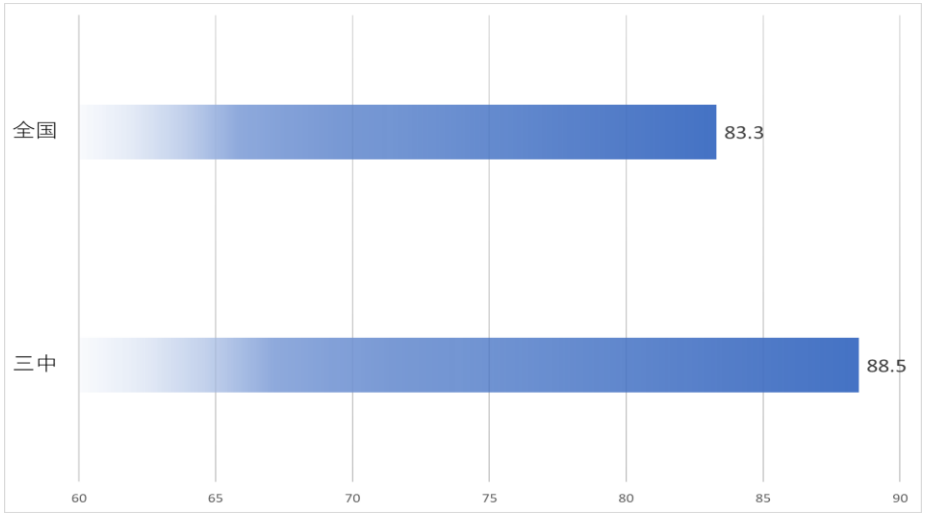
（9）「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



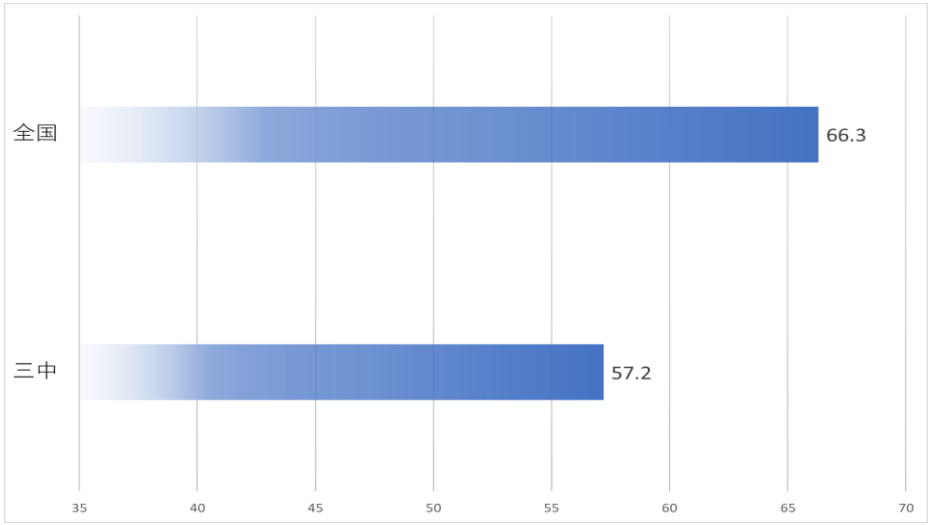
（10）「学校に行くのは楽しいと思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



（11）「自分には、よいところがあると思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



（12）「将来の夢や目標をもっていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



４　ご説明

●「１　平均正答率」から

　国語も数学も全国平均を大きく上回っていることが分かります。特に、数学の本校の平均正答率は全国平均に対して「＋１３．５」、観点別の「思考・判断・表現」は「＋１７．３」と顕著に上回りました。

●「２　無回答率」から

　文章・途中式・説明など、書くことが多くなる記述式問題になればなるほど、本校の無回答率は東京都や全国を大きく下回っていることが分かります。これは、あきらめることなく忍耐強く考えて取り組む習慣が身に付いている子どもが多いということと、日常的に考えて文を書いたり途中式を書いたりしている学習活動の成果であると思います。これらの習慣や成果は、特定の教科の授業で身に付くものではなく、すべての教科において「書かせる」という授業を展開している結果の表れです。

●「３　生徒質問紙調査の集計結果より」から

　（２）（３）（４）（７）（９）の設問は、「考える」「まとめる」「書く」「説明する」などの言語活動に関するものであり、ほとんどが三中の肯定的回答率は全国を上回っており、これらが思考力・判断力・表現力を向上させている要素であると考えられます。

　（５）（８）の設問は、充実した学級活動を行っているか、学級の居心地は良いかを問う設問であり、どちらも三中の肯定的回答率は全国を上回っており、学級を拠点として生徒会活動に前向きに取り組んでいる子どもたちが多いということが分かります。また、このことから（１０）の「学校に行くことは楽しい」に対する肯定的回答率も全国を上回ったものと考えられます。

　ただし、個人の自尊感情や社会との関わりなどを問う設問で、（１１）の「自分には、よいところがある」に対して肯定的回答率が全国を上回ったものの、（１）の「地域や社会をよくするために何かしてみたいか」「将来の夢や目標をもっているか」に関しては肯定的回答率が全国平均を下回り、子どもたち自身の課題なのか、東京という土地柄の課題なのか、いずれにしても課題が残りました。

　また、（６）の「学級活動において、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか」の肯定的回答率が全国より低かったのは、三中の子どもたちが、概して自分に対して厳しく評価する結果が現れたものと考えています。

●学力調査の結果は、「測れる学力」のうちの一部にしか過ぎず、この結果が「学力」というわけではないことに十分ご留意ください。
●また、今回お示しした学力調査の結果、生徒質問紙調査の結果は、いずれも平均値であり、あくまでも本校の傾向を表したもので全ての子どもにそのまま当てはまるものではありません。
●本校の理念「一人一人の子どもを大事にする」をもとに、学習に苦手意識をもっている子どもには、どのような支援が必要か、どのような教材準備が必要かなどを考えながら、個に応じた指導を今後も進めてまいります。